

日光・塩谷方面修学旅行



7月6日(水)～8日(金)に、6年生の日光修学旅行を行いました。塩谷町にある宿泊施設「くまの木」に2泊し、塩谷町の自然や農業に関わる体験をしたり、日光の社寺を見学したりしました。

特に、塩谷町の方にお世話になって実施することができた「農村体験」が子どもたちの心に大きく残ったようです。コロナ禍にあって、自然体験がなかなかできない現状の中、貴重な体験になったようです。菊の収穫体験をして、実際にその花で生け花をしたり、ジャガイモや夏野菜の収穫をさせていただいたりしたことで、農家の方の思いに触れ、自然の豊かさを感じることができたようです。

また、6年生全体が一体となって火を囲んだキャンプファイヤーや、「くまの木」の校庭でたくさん遊んだことなど、友達との大切な時間もたくさんもつことができました。自分たちで計画し、工夫して創り出した時間は一生の宝物です。

心配されていた雨雲も吹き飛ばし、全員が大きな病気やケガなく元気に過ごして帰ってくることができたのも何よりでした。

これからあと半年続く星川小学校での最高学年としての生活に生かしていただきたいと思います。

一番思い出に残ったのは、2日目のキャンプファイヤーでした。なぜなら、劇はもちろんみんなでダンスをおどって、すごく盛り上がって楽しかったからです。

劇では、がんばって練習したので、当日は大成功だったのでよかったです。またキャンプファイヤーのゲームのときに男女問わずゲームができました。(皆川 聖菜さん)

「くまの木」の池で生き物をつかまえました。つかまえた生き物はカエルです。すごく小さいのから大きいのでたくさんの種類がいました。大きいのはすごく静かにしないと逃げってしまうので、忍び足でつかまえました。横浜にはあまりカエルがいないけど、栃木の池にはカエルやイモリなどの珍しい生き物がいてびっくりしました。

(渡邊 舜斗さん)



菊の花の収穫体験！

2日目の全てが思い出に残りました。農業体験では、自分で育てたわけではないけど、自分でとった野菜は新鮮でとてもおいしかったです。こんな経験は二度とないなと思いました。二匹目は鮎のつかみ取りです。一匹目は全然つかまえられなかったけど、頑張ってとりました。二匹目は慣れてきて片手でとることができました。おなかの部分はスイカのおいがしました。三匹目は友達にあげました。

(菊地 一希さん)

私はキャンプファイヤーが一番思い出に残りました。私はキャンプファイヤー係で劇をすることになりました。初めは少し緊張したりはずかしいと思うことがあったりしました。でも、みんなが楽しめるようにするためには、自分もはずかしながら全力で取り組み、楽しむことが大切だと思いました。本番は自分もみんなも全力で楽しんで、たくさんの笑顔があふれ、みんなの仲がとても深まっていいキャンプファイヤーになったと思います。

(前田 八重さん)



「くまの木」の池でイモリ探し！



華厳の滝の雄大な姿に感動！



中学校ブロック横浜子ども会議

7月19日(火)に保土ヶ谷中学校に保土ヶ谷中学校と近隣の小学校の代表生徒児童が集まり、「イジメゼロ」というブロックテーマをもとに、いじめをなくすための各学校での取り組みについて話し合いました。星川小学校からは6年生の菅井敬太さんが代表として出席しました。



健康観察のお願い

新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、子どもたちが安全に過ごせるように、校内での過ごし方について最大限配慮していきます。

つきましては、ご家庭でも慎重な健康観察をしていただき、毎朝の検温はもとより、本人にわずかな風邪症状(咳・のどの痛み、頭痛、発熱、倦怠感等)がある場合には、登校を控え、療養に努めていただくようお願いいたします。また、ご家族に症状がみられる場合には、自宅待機をして、様子を見ていただくとありがたいです。